

りょういき かいご
＜領域：介護＞

せいかつしえんぎじゆつ
生活支援技術

もんだい つぎ きじゆつ かいごふくししよく おこな りょうしゃ せいかつしえん もっと てきせつ
問題 35 次の記述のうち、介護福祉職が行う利用者の生活支援として、最も適切

えら
なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者ができないことを代わりに行うことに重点を置く。
りょうしゃ か おこな じゆうてん お
- 2 利用者の全体像をとらえて支援する。
りょうしゃ ぜんたいざう しえん
- 3 利用者がすべてを自分一人で行えるようにする。
りょうしゃ じぶんひとり
- 4 利用者の生活の効率化を図ることを目標にする。
りょうしゃ せいかつ こうりつか はか もくひよう
- 5 利用者に同情する気持ちで寄り添う。
りょうしゃ どうじよう きも よ そ

もんだい かいごろうじんふくししせつ かいてき しつないかんきよう かん つぎ きじゆつ
問題 36 介護老人福祉施設における、快適な室内環境に関する次の記述のうち、

もっと てきせつ えら
最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 風の通り道をつくって、換気を行う。
かぜ とお みち かんき おこな
- 2 手すりは、壁紙と同じ色を使う。
て かべがみ おな いろ つか
- 3 ベッドライトの光源は、利用者の目に直接あたるように調整する。
こうげん りょうしゃ め ちよくせつ ちょうせい
- 4 カビの発生を予防するために、湿度は高く保つ。
はっせい よぼう しつど たか たも
- 5 靴音を小さくするために、硬い床材にする。
くつおと ちい かた ゆかざい

問題 37 パーキンソン病 (Parkinson disease) の人の住まいに関する次の記述のうち、

最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 玄関の段差には、スロープを設置する。
- 2 廊下の床には、歩幅に合わせて目印をつける。
- 3 リビングの床には、大きさの違うカーペットを重ねて敷く。
- 4 移動空間が狭くなるように、家具を配置する。
- 5 リビングは1階、浴室は2階にして、階段で行き来する。

問題 38 次の記述のうち、歩行が不安定になり、移動の意欲が低下している利用者

に対する介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 福祉用具の使用は避けて、自力での歩行を目指すように促す。
- 2 移動の目的を伝えるよりも、歩行機能の改善を優先する。
- 3 成功体験を積み重ねることができるように、達成可能な歩行の目標距離を設定する。
- 4 歩行の不安定さに合わせて、移動範囲を縮小する。
- 5 本人が希望しなくても、介護福祉職の判断で毎日歩くことを目標にする。

問題 39 次の記述のうち、右片麻痺のある利用者に対する、仰臥位(背臥位)から

車いすへの移乗の介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者に右側臥位になって起き上がるように促す。
- 2 端座位になった利用者の左側に立つ。
- 3 端座位になった利用者の右側に、車いすを置く。
- 4 車いすのフットサポートは下げておく。
- 5 移乗するときは、利用者に前傾姿勢をとるように促す。

もんたい しかくしょうがいしゃ ほこうじ ゆうどう かん つぎ きじゅつ もっと てきせつ
問題 40 視覚障害者の歩行時の誘導に関する次の記述のうち、最も適切なものを

えら
1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職は、利用者の半歩後ろで背中を支えながら歩く。
- 2 介護福祉職は、白杖に触れながら歩く。
- 3 狭い通路では、介護福祉職は利用者の後ろを歩く。
- 4 階段利用時は、介護福祉職は階段の前で声かけして止まる。
- 5 介護福祉職は、利用者が握っている上肢を振って歩く。

もんたい み もくてき かん つぎ きじゅつ こくさいせいかつきのうぶんるい
問題 41 身じたくの目的に関する次の記述のうち、国際生活機能分類(I C F)にお

ける「心身機能・身体構造」の観点^{しんしんきのう しんたいこうぞう かんてん かんが}が考えられるものとして、最も適切なものを1

えら
つ選びなさい。

- 1 体温を調整する。
- 2 身体を清潔に保つ。
- 3 セルフケアを行う。
- 4 自分を表現する。
- 5 周囲との人間関係を調整する。

もんたい つぎ きじゅつ かいご ひつよう りようしゃ こうくう もっと てきせつ
問題 42 次の記述のうち、介護が必要な利用者への口腔ケアとして、最も適切な

えら
ものを1つ選びなさい。

- 1 仰臥位(背臥位)で行う。
- 2 歯垢を除去するためにうがいをしてもらう。
- 3 歯ブラシで歯を1, 2本ずつ磨く。
- 4 スポンジブラシは乾いた状態で使用する。
- 5 部分床義歯(局部床義歯)はつけたまま行う。

もんたい つぎ みぎかたまひ りようしゃ まえびら うわぎ ちゃくだつ かいごふくし
問題 43 次のうち、右片麻痺の利用者が前開きの上着を着脱するときに介護福祉
 しょく おこな せつめい もっと てきせつ えら
 職が行う説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「脱ぐときは、左肩の衣服を下げってから、右側の袖から腕を抜きましょう」
ぬ ひだりかた いふく さ みぎがわ そで うで ぬ
- 2 「脱ぐときは、右肩の衣服を下げってから、右側の袖から腕を抜きましょう」
ぬ みぎかた いふく さ みぎがわ そで うで ぬ
- 3 「襟元を手前にして、腿の上に置きましょう」
えりもと てまえ もも うえ お
- 4 「着るときは、右袖を肘まで通してから、左袖を通しましょう」
き みぎそで ひじ とお ひだりそで とお
- 5 「着るときは、右袖を肩まで通してから、左袖を通しましょう」
き みぎそで かた とお ひだりそで とお

もんたい つぎ きじゆつ かいごろうじんふくししせつ しょくじ かん しえん
問題 44 次の記述のうち、介護老人福祉施設における食事に関する支援として、
 もっと てきせつ えら
 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食堂の換気は、不要である。
しょくどう かんき ふよう
- 2 食事中は、会話を控えるようにする。
しょくじちゆう かいわ ひか
- 3 食事が楽しくなるような雰囲気をつくる。
しょくじ たの ふんいき
- 4 食べ終わった利用者の食器は、すぐに下膳する。
た お りようしゃ しょつき げぜん
- 5 照明は、明るさを25ルクス(lx)以下にする。
しょうめい あか い か

もんたい つぎ きじゆつ いす すわ しょくじ りようしゃ しょくじ
問題 45 次の記述のうち、椅子に座って食事をするときに、利用者が食事をしやす
 しせい かくほ かいご もっと てきせつ えら
 い姿勢を確保するための介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 足底を床につけてもらう。
そくてい ゆか
- 2 テーブルと身体の間は30cm離してもらう。
しんたい あいだ はな
- 3 椅子に浅く座ってもらう。
いす あさ すわ
- 4 体幹を後方に傾けてもらう。
たいかん こうほう かたむ
- 5 顎を上げてもらう。
あご あ

もんだい そしゃくきのう ていか りようしゃ しょくじかいご かん つぎ きじゅつ もっと
問題 46 咀嚼機能が低下した利用者の食事介護に関する次の記述のうち、最も

てきせつ えら
適切なものを1つ選びなさい。

- 1 おお す こ た
大きめのスプーンで吸い込むように食べてもらう。
- 2 ひとくちりょう かる いっぱい めやす
一口量は、ティースプーンに軽く一杯を目安にする。
- 3 た じゅんばん かいごふくししょく はんだん おこな
食べる順番は、介護福祉職の判断で行う。
- 4 すプーンは、した おく い
スプーンは、舌の奥にのせるように入れる。
- 5 そしゃく はじ つぎ た もの くち い
咀嚼が始まったら、すぐに次の食べ物を口に入れる。

もんだい さい じょせい ようかいご かいごろうじんふくししせつ せいかつ
問題 47 Aさん(80歳, 女性, 要介護3)は、介護老人福祉施設で生活している。

しょくじ みまも じりき せっしゅ えんげきのう ていか
食事は見守りのもとでほぼ自力で摂取しているが、嚥下機能は低下してきている。

いし しょくじせっしゅ はいりょ しどう ひ ちゅうしょくちゅう
医師からは、食事摂取に配慮するように指導されている。ある日の昼食中、A

しょくじ た はし と ひょうじょう こきゅう あさ
さんは食事を1/3ほど食べたところで箸を止め、表情がこわばり、呼吸もやや浅

くなった。

つぎ きじゅつ かいごふくししょく いりょうしょく ほうこく どうじ さいしょ おこな たいおう
次の記述のうち、介護福祉職が医療職に報告すると同時に、最初に行う対応と

もっと てきせつ えら
して、最も適切なものを1つ選びなさい。

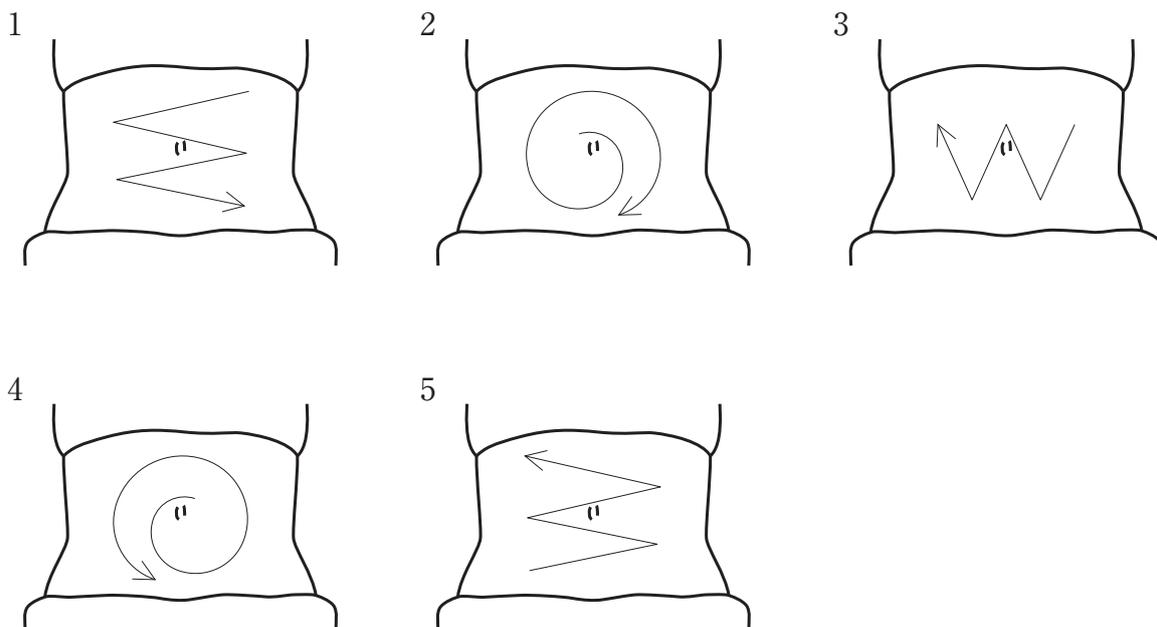
- 1 けつあつ そくてい
血圧を測定する。
- 2 こうくう じょうきょう かんざつ
口腔の状況を観察する。
- 3 くち こきゅう うなが
口すぼめ呼吸を促す。
- 4 ば ぎょうがい はいがい
その場で仰臥位(背臥位)になってもらう。
- 5 くすり ふくよう
すぐに薬を服用してもらう。

もんだい じょう おこな いんぶせんじょう かん つぎ きじゆつ もっと てきせつ
問題 48 ベッド上で行う陰部洗浄に関する次の記述のうち、最も適切なものを
 えら
 1つ選びなさい。

- 1 滅菌手袋を使用して行う。
めっきんてぶくろ しょう おこな
- 2 上半身はベッドの手前端に移動する。
じょうはんしん てまえはし いどう
- 3 バスタオルで両下肢を包む。
りょうかし つつ
- 4 洗浄する時は、43℃のお湯を用いる。
せんじょう としき ゆ もち
- 5 終了後は、蒸しタオルで水分を拭き取る。
しゅうりょうご む すいぶん ふ と

もんだい ふくぶ せいしき ほうほう ず しめ やじるし ふ ほうこう あらわ
問題 49 腹部の清拭の方法を図に示す。矢印は拭く方向を表している。

つぎ きほんてき せいしき ほうほう もっと てきせつ えら
 次のうち、基本的な清拭の方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。



問題 50 Aさん(55歳, 男性, 会社員)は, 20歳のときに交通事故で第5頸髄(C5)を損傷した。現在, 電動車いすを利用し, 自宅で自立した生活を送っている。身体状況は安定しているが, ときどき仙骨部に褥瘡ができることがある。入浴は, 居宅介護(ホームヘルプサービス)を利用して, 訪問介護員(ホームヘルパー)が福祉用具を用いて入浴介護をしている。

次のうち, Aさんが入浴時に使用している福祉用具として, 最も適切なものを

1つ選びなさい。

- 1 移乗台
- 2 バスボード
- 3 入浴用リフト
- 4 浴槽用手すり
- 5 滑り止めマット

問題 51 Aさん(85歳, 男性, 要介護3)は, アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断され, 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)で生活をしている。入所時, Aさんは, 尿意や便意はあり, 自分でトイレに行って排泄できていた。最近, 認知機能の低下によって, トイレ以外の場所で排泄するようになった。

次の記述のうち, Aさんの状態に合わせた介護福祉職の対応として, 最も適切なものを

1つ選びなさい。

- 1 骨盤底筋訓練を行う。
- 2 紙おむつを使用する。
- 3 一日の水分摂取量を減らす。
- 4 ほかの利用者と同一時間にトイレへ誘導する。
- 5 トイレの出入口に「トイレ」と書いた紙を貼る。

問題 52 次のうち、下痢げりをしている利用者りようしゃの水分補給すいぶんほきゅうとして、最も適切なものもっと てきせつを

1つ選びなさい。

- 1 白湯さゆ
- 2 牛乳ぎゅうにゅう
- 3 炭酸水たんさんすい
- 4 コーヒー
- 5 冷水れいすい

問題 53 Aさん(83歳, 男性, 要介護1)は、一人暮らしひとりぐで、少額しょうがくの年金ねんきんで生活せいかつし

ている。Aさんは軽度けいどの認知症にんちしょう(dementia)と診断しんだんを受けている。近所きんじょには親しくしたしている人ひとが複数ふくすうにん人いる。ある日ひ, 訪問介護員ほうもんかいごいん(ホームヘルパー)が訪問ほうもんすると、近所きんのスーパーじょで購入こうにゅうした未開封みかいふうの健康食品けんこうしょくひんが山積みやまづになっていた。Aさんが財布さいふを持ってきて、も「買いたいものがたくさんあるが、お金かねが足りない。どうしたらよいか」と訪問介護員ほうもんかいごいん(ホームヘルパー)に相談そうだんした。

このときの訪問介護員ほうもんかいごいん(ホームヘルパー)の対応たいおうに関する次の記述かのうち、最も適切なものもっと てきせつを1つ選びなさい。

- 1 「お金かねは足りているから安心あんしんして大丈夫だいじょうぶですよ」と伝えるつた。
- 2 近所きんじょの親しい人したに、財布さいふを預かあずってもらえるか、聞いてみるき。
- 3 鍵付きかぎつの引き出しひに財布さいふを入れ、訪問介護員ほうもんかいごいん(ホームヘルパー)が鍵かぎを管理かんりする。
- 4 「お金かねの使い方つかについて、一緒かたに考えてみませんか」と提案ていあんする。
- 5 健康食品けんこうしょくひんのクーリング・オフすすを勧める。

もんだい せんい いるい せいしつ せんたくほうほう かん つぎ きじゅつ ただ
問題 54 繊維や衣類の性質と洗濯方法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ
えら
選びなさい。

- 1 綿の柄物シャツには酸素系漂白剤を使う。
- 2 ナイロンのレインウェアは脱水時間を長くする。
- 3 ウールのニットセーターは乾燥機を使う。
- 4 レーヨンのパジャマはすすぎ時間を長くする。
- 5 絹のブラウスには弱アルカリ性洗剤を使う。

もんだい さい じょせい ようかいご ほうもんかいご
問題 55 Aさん(82歳, 女性, 要介護1)は, 訪問介護(ホームヘルプサービス)を
しゅう かいりよう せいかつえんじょ う じたく ひとりぐ ちょうり
週1回利用し, 生活援助を受けながら, 自宅で一人暮らしをしている。調理はA
ほんにん おこな じぶん おこな おも ひ ほうもん
さん本人が行うなど, できることは自分で行いたいと思っている。ある日, 訪問
かいごいん かいもの わた ちか
介護員(ホームヘルパー)はAさんから買物リストを渡されて, 近くのスーパーで
しょくざい こうにゅう
食材を購入してきた。

つぎ きじゅつ せいかつえんじょ ほうもんかいごいん たい
次の記述のうち, Aさんへの生活援助における訪問介護員(ホームヘルパー)の対
おう もっと てきせつ えら
応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 依頼された食材が安かったので, リストに書かれた数より多く購入した。
- 2 おつりとレシート, 購入した食材の確認を, Aさんにすべて任せた。
- 3 冷蔵庫を開けたとき, 賞味期限切れの食材があったため廃棄した。
- 4 買物リストは, 次から訪問介護員(ホームヘルパー)が書くことを提案した。
- 5 購入した食材で調理しにくいものがないか, Aさんに確認した。

もんだい つぎ きじゅつ りょうしつ すいみん かんきょう もっと てきせつ
問題 56 次の記述のうち、良質な睡眠のための環境づくりとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日中は、強度の高い運動を多く取り入れる。
- 2 夜食は、就寝直前にとる。
- 3 入浴は、就寝の1～2時間前に行う。
- 4 眠気がなくても、決まった時間に目を閉じる。
- 5 寝ている間も、照明は明るくしておく。

もんだい さい じよせい ようかいご のうこうそく こういしょう
問題 57 Aさん(83歳、女性、要介護3)は、脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症で左片麻痺があり、介護老人福祉施設に入所している。ある日の夜間、仰臥位(背臥位)で寝ていたAさんが、「背中が重く感じて、眠れない」と介護福祉職に訴えた。次の記述のうち、介護福祉職がAさんに行う介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ファーラー位にして、左下肢にクッションを入れる。
- 2 両上肢の下に、クッションを入れる。
- 3 両膝窩部に、クッションを入れる。
- 4 右側臥位にして、クッションを抱いてもらう。
- 5 右下肢の足部に、クッションを入れる。

もんだい つぎ きじゆつ かいごろうじんふくししせつ しゅうまつき りようしゃ かぞく
問題 58 次の記述のうち、介護老人福祉施設で、終末期にある利用者とその家族に
おこな かいごふくししよく しえん もっと てきせつ えら
行^{えら}う介護福祉職の支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の苦しそうな姿を見せないように、家族には面会を控えてもらう。
りようしゃ くる すがた み かぞく めんかい ひか
- 2 利用者と家族の関係が良好でない場合は、家族と連絡を取らないようにする。
りようしゃ かぞく かんけい りようこう ばあい かぞく れんらく と
- 3 好きなものや食べたいものがある場合は、家族に持ってきてもらう。
す た ばあい かぞく も
- 4 苦痛を訴える場合は、家族から激励してもらう。
くつう うった ばあい かぞく げきれい
- 5 家族が不安になるため、体調の変化は伝えないようにする。
かぞく ふあん たいちょう へんか つた

もんだい つぎ きじゆつ しせつ な りようしゃかぞく かいごふくししよく たいおう
問題 59 次の記述のうち、施設で亡くなった利用者家族への介護福祉職の対応とし
もっと てきせつ えら
て、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 悲しみの表出があった時点からかかわりを開始する。
かな ひょうしゆつ じてん かいし
- 2 傾聴よりも励ますことを重視する。
けいちよう はげ じゆうし
- 3 悲嘆は特異な反応のため注意する。
ひたん とくい はんのう ちゆうい
- 4 故人との思い出には触れないようにする。
こじん おも で ふ
- 5 悲嘆が長期化した場合は、専門医等へ相談するように助言する。
ひたん ちようきか ばあい せんもんいとう そうだん じよげん

もんだい つぎ こていしきほこうき てき りようしゃ もっと てきせつ
問題 60 次のうち、固定式歩行器が適した利用者として、最も適切なものを1つ
えら
選びなさい。

- 1 ついまひ かし こうご だ ひと
対麻痺で、下肢を交互に出すことができない人
- 2 かたまひ まひそく しかんせつ こうしゆく ひと
片麻痺があつて、麻痺側の指関節の拘縮がある人
- 3 りようじょうし きんりよく よわ しゅかんせつ いた ひと
両上肢の筋力が弱く、手関節に痛みがある人
- 4 りょうて あくりよく たも すうびょうていど りついはじ ひと
両手の握力が保たれていて、数秒程度の立位保持ができる人
- 5 みぎ そっこんこつ こっせつ みぎかし たいじゅう ひと
右の足根骨を骨折して、右下肢に体重をかけることができない人

もんだい
A部分の問題はここまでです。